

第一回 播磨町の未来を語ろう会 報告書

開催日時	令和元年12月24日 14時から
開催場所	議場及び会議室302
参加人数	播磨南高校 生徒14名 播磨町議会 全議員14名 (意見交換は8名が担当)
開催概要	議場において、高校生3～4人に分かれた4グループが提案スピーチを発表。その後、会議室に場所を移動し各グループに2名ずつ議員が加わり意見交換を実施した。

提案スピーチ

提案1 豊かな心と人をはぐくむ町について

サイエンスの部分については不十分と考える。そのため、川崎重工業に協力してもらい工業に触れる機会を増やしてはどうか。

英語学習にも、もっと力を入れるべきだと考える。国際交流協会の異文化交流に対応できる英語力があれば、子どもたちの学習の力もつくしグローバル化の波に対応できる町になる。そのため、高校生が地域に住む外国人と小学校の授業に行き、英語遊びなどをする。そうすれば、自ら進んで英語を学ぶ人が現れ国際化した町になる。

提案2 やすらぎがあり、健やかに暮らせるまちについて

街灯の設置場所が、学校などの公共施設周辺に偏っている。街灯を増やすために、町の補助額を引き上げることにより設置を促す。また、空き家に店舗誘致を行うことにより、犯罪の抑止にもなると同時に経済の活性化にもつながる。

防犯啓発活動が学生に偏っている。子どもから高齢者までの全世代を対象にした防犯教室を町・警察・住民一体となって行うと良い。そうすれば、防犯の知識を学ぶことができる上に、子どもと大人のコミュニケーションを生み出すことができる。

提案3 人や環境にやさしく快適なまちについて

土山駅の壁を利用してプロジェクションマッピングを行い、町内外から来る人を増やす。そのうえで、駅周辺に飲食店や播磨町の魅力をPRできる施設などを増やす。

喜瀬川などの水辺の清掃により力を入れる。水辺をきれいにすれば、水辺を生かしたイベントを開くことができる。また、蛍を住まわせることができれば町民の憩いの場になり町の観光資源にもなる。

提案4 つながりを大切にする町について

町内のコミュニティ施設の中に、明石市の「ユーススペース」や加古川市の「かこむ」にあるようなカフェや集いの場を作りイベントなどの情報を拡散させる。

外国人との交流をさらに深めるために中高生が中心となり、外国人が古代着を着用して古民家ツアーをする。

石ヶ池公園で播磨南高校の芸術保育類型が子育て支援やプロジェクションマッピングをすることで、高齢者、子育て世代、高校生の交流を深めることができる。

意見交換

イベント・企画

- 二見の漁師の方の依頼で船に絵を描いたことがある。良い経験だったので播磨町でもやりたい。
- 提案した古民家ツアーにスタンプラリーを加えるのもいい。また、音声ガイドがあれば、中高生が中心になって行うことが出来る。
- 学生と協働して大中遺跡まつりを盛り上げる。例えば、芸術保育類型の学生とプロジェクトマップを制作するなど。
- 播磨町駅周辺にはきれいなバラが咲いているので、インスタ映えする。町内に咲いている花を撮影して、花言葉と一緒に発信すれば多くの人の興味を引き、播磨町に足を運んでくれる人が増えると思う。
- サマーフェスティバルなどにも参加する意欲がある。

街灯・道路・交通

- 自転車で通学しているが街灯がなく暗いところがあり危険である。特に新幹線の下で暗いところ、見通しのわるいところがある。
- 道路(歩道)に高低差があり自転車で走行する時に危険を感じる。
- LEDの光は直進性が強いので、暗い場所ができています。
- 学校近くの田んぼの横(通学路)を歩いていると落ちそうになる。
- 夜間に喜瀬川沿いをランニングするが、暗いところに防犯灯を設置して欲しい。
- 通学途中、町道浜幹線道路の横断歩道で待っていても止まる車が少ない。運転マナーが悪いので、看板設置などで対策をして欲しい。
- 狭い町で駅が2つあり便利だと感じている。

災害

- 新島の企業と災害時の協定を結ぶべき。
- 災害時、もし大橋が使えなくなれば、漁船やレジャーボートを使ってピストン輸送する様にすれば良い。

商業・農業

- 大型の商業施設やショッピングモール、レジャー施設がなく、大久保や神戸、姫路に出かけている。
- 農業をもっと大事にしなければいけない。播磨町には土地に余裕がないので、稲美町の土地を活用できるようにすればいい。
- 播磨町駅前に高校生が行けるお店(カフェなど)が無い。

河川・公園

- 大中遺跡をもっとPRしたら良いと思う。
- 出会いの道は、まだまだ活用しきれていないと思う。もっと活用した方がいい。

学校

- 生徒会の役員をしている。活動は大変だが、やり終えた時の達成感や充実感を感じている。
- 入りたい部活動がなく、政治などの話ができるような仲間がいない。
- テニス部で活動している。打ち損じたボールがフェンスを跳び越え危険だ。

その他

- 子どもの頃から習字をやっている、もっと学校で習字の授業があればいい。
- 大中遺跡まつりでボランティアをしていたら、スマホをいじりながら話しかけてきたり、断りなく勝手にパンフレットを取っていくなど大人のマナーが悪い。
- 若者のコミュニケーションの場を増やしてほしい。
- 町立図書館にあるような静かな自由室だけではなく、フードコートのように賑やかな空間があれば、もっと多くの人が集えると思う。
- AKASHIユーススペースには、交流スペースやフリースペースがあり、音楽スタジオやダンススタジオも併設されている。利用する人が中高生だと、無料で使用できるので学生には嬉しい。また、親子交流スペース「ハレハレ」もあり、学生や子育て世代などが多目的に利用できるのも、幅広い交流の場になっている。

感想等

- 始まるまでは緊張していたけど、話しやすかった。
- 町外から通学しているが、町内の友人たちとシーサイドドームでテニスをしている。
- 播磨町に住んでいないが、播磨町はとてもいい町なので住みたいと思う。